

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	外出から帰ったらホッと出来る家を作ろう！！自分の大切な家族をあずけたい家を作ろう！！を目標に日々努力している。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「障害を持つ方とその家族にほほえみを」を理念に安心して楽しく生活を営むことが出来るよう取り組んでいる。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営会議・音楽療法等、町内会長さんや民生委員、ご近所の方、ご家族にご参加頂くなど取り組んでいる。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩時や買い物時に気軽に声をかけて頂いている	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	商店街の利用や散歩時には近隣の方と会話をもつ等交流に努めている。	地域交流スペースの活用や音楽療法の計画に伴う音楽会開催等を検討して行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> <p>利用者と共に何が出来るか?を話し合いはするものの、体調不良や天候等の兼ね合いもありなかなか実践出来ていない。</p>		公園の掃除等行ってゆきたい
WO			
7	<p>評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> <p>見つけ直すきっかけとして必要な事は改善に努めている。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見を利用者サービス向上に活かしている</p> <p>実際の取り組みとそれによる効果を報告し意見を頂いている。</p>		
9	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> <p>疑問があれば躊躇せず、まず聞いてみるという姿勢で質の向上に努めている。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを</p> <p>必要と判断される場合は家族に勧めている。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、</p> <p>研修会の積極的な参加及び伝達講習を行う。また情報を共有する事により1人で悩みを抱え込まない様努め、虐待に結びつかない様に注意をはらっている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>疑問点にはお答えし信頼関係に努め、安心して過ごしていただける環境を提供している。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見を取り入れたり反省材料にさせて頂いたりと前向きに取り組んでいる。</p>	
14	<p>家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者また家族により求められる事が違うため出来る限り求められる情報報告が出来るよう努めている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議に伴い事前に要望等をあげて頂き運営に反映させる事が出来るよう支援している。また面会時等ご家族に顔を合わせコミュニケーションをとるようにしている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>運営者と話が出来る機会を設けているが、なかなか反映にまで結びつかない。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>勤務調整は行っている。また、管理者は状況の変化を把握し必要時柔軟な対応が行えている。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者への慣れを促す等配慮</p>	<p>特別なことや職員のスキルアップがない限り異動は実施していない。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5 . 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニング	経験に応じた研修の参加等実施している。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組み	グルーホーム交流会に参加し情報交換に努めサービスの向上を図っている。		
21	職員のストレス軽減に向けた取 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	同僚の良いところを言う・悪口は言わない・お互いに注意しあえる関係作りに努め、働き易い職場を作ることを目指している。		
22	向上心を持って働き続けるため 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	悩みの共有と解決への努力に努めている。		
1 . 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる	信頼関係作りを大切にしている。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をして	家族が考えて行く事が出来るよう悩みを共有し支援している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	何が必要かを考え他のサービス機関を勧める事もある。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談	見学や行事参加・体験入居を勧め少しでも不安が軽減出来るようサポートしている。		
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いてい	生きがい作りを支援し達成感を共に分かち合える様サポートしている。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	その方と向き合い信頼関係を築き、また安心して話が出来よう努力している。		
29	本人と家族のよりよい関係に向 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	若い頃からの本人との関係や認知症になられてからの家族の思いや葛藤・関係を把握するように努め、かつ家族とより良い関係及び関係が取り戻せる援助が出来よう様に支援している。		
30	馴染みの人や場との関係継続の 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の依頼で面会制限がある方もおられるが、基本的には自由な面会を推進しており、たとえ本人が面会者を忘れておられても状況を察知しフォローに努めている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	閉じこもりを少なくできるように利用者同士が良い関係を築けるようサポートしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	相談しやすい雰囲気のもとにサービスが終了出来るよう心がけ、希望時は必ず相談に応じる。また必要時にはアプローチを行う場合もある。		
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個人の意向を大切にしているものの家族の事情もあるため何が本人にとってベストなのか？と言うことを念頭に家族と検討している。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴から一層個人の理解が深まると考えており出来る限りの情報収集と情報の共有化に努めている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個々人の性格・その日の状態等把握しサポートしている。		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>				
36	チームでつくる利用者本位の介 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアスタッフの情報を重視しまた本人の状況と希望を最大限尊重しながら家族の意向を踏まえ介護計画を立案している。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態が著しく変化した場合はその都度ケア計画を変更している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、 気づきや工夫を個別記録に記入し、 情報を共有しながら実践や介護計画の 見直しに活かしている	個別ケアに取り組み色々なアプローチが 出来るように情報の共有化に努めており、 個人にあったケアプランの作成を行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を 活かした柔軟な支援をしている	可能な限り支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民 生委員やボランティア、警察、消 防、文化・教育機関等と協力しな がら支援している	区民センター等の催しに参加したり、ボラ ンティアの方と馴染みの関係が作れるよう 支援している。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地 域の他のケアマネジャーやサー ビス事業者と話し合い、他のサー ビスを利用するための支援をしてい	他のサービスを利用したいとの意向は今の所 見られないが必要に応じて検討していく。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権 利擁護や総合的かつ長期的なケア マネジメント等について、地域包 括支援センターと協働している	運営推進会議にての情報交換や日常におい ても相談し易い関係作りに心がけている。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適 切な医療を受けられるように支援	入居者がホームドクターとの信頼関係を築け る様に支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援して</p> <p>月2回認知症専門医の往診があり必要時にはその都度相談出来ている。</p>		
45	<p>看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p> <p>常勤看護師による健康管理および主治医との連携に努めている。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備</p> <p>入院時はこまめに面会に行き不安感の軽減を図っているまた、主治医や担当看護師、医療相談室とも連携をとり情報交換に努めている。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員</p> <p>入居時に重度化した場合の説明を行い、又家族の意向等聞き取りながら、医療関係と連携もとりその方の将来の方針を考えている。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備</p> <p>入庫前より家族へ特養申し込みをして頂く様に働きかけ、情報を提供している。</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐこと</p> <p>家族とともに本人にとっていつの時期に・どんなところが等協議しながら情報を集めながら行っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個々の性格や個性を充分理解し尊敬の念を忘れずサポートしている。記録等は詰所に保管している。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援を</p>	<p>信頼関係や馴染みの顔になれる様努めながら、穏やかな生活を送ることが出来るよう支援している。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援</p>	<p>一日中ゴロゴロしないよう働きかけは行うが強制はしないよう。また退屈もしないようその方に合わせたサポートをしている。</p>	
<p>ロゴロ</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>本人の希望に添い、家族に了解を得て支援している。化粧品や衣類等一緒に購入する事もある。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>共に食事をする事にチャレンジしてみたが、嚥下の悪い方等もおられ事故を未然に防ぐ事や早期発見を考慮し毎食の食事は残念したが、行事の時など一緒に食事をとる事を取り入れている。調理や後片づけは共に行っている。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>お酒や煙草の希望があっても本人の疾患や薬の内容によっては困難な場合もある。おやつや飲み物は共に作ったり買い物に行ったりしている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	その方の排泄パターンに応じたトイレ誘導の実施と、可能な限りオムツ外しに努めている。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	安全の確保に努めており必ず職員が介助している為時間・曜日は決めているが、その時のご本人の状況により臨機応変に行っている。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	生活のリズムが崩れない様に配慮しながら支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	趣味や興味のあることを探し出し楽しんで張りのある生活を送ることが出来るよう支援している。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援してい	本人が管理できる方は所持して頂き買い物等して頂いている。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物等外出援助を積極的に行っている。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援してい	家族との外出は推進しているが、個々の希望通りに施設の方から外出する支援は困難である。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族の了解が得られる方は希望時には電話の使用をして頂くが、認知症の不定愁訴や妄想の場合は訴えを見極めて支援している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族と密に情報交換を行い、家族も居心地良く過ごせる関係作りに努めている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケア	利用者の尊厳を第一に考えている為、身体拘束は行わない。しかし生命の危機に関わる事が生じた場合は家族の承諾のもとで行う場合がある。(幸い現在までに行った事はない)		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には希望者以外は施錠していないが、階段室等事故が起こりやすく、町中で車の通りも多く近隣で強盗事件もよくあるため、家族の要望もあり十分な理解のもと施錠している。1日1度は外出できる環境作りをおこ		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に利用者の把握に努めこまめな安否確認と訪室しやすい関係作りに努めている。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物や針などは施設の備品を使用して頂いているが、鏡や化粧品・シェーバー等はその方の状態にあわせ居室にお持ちである。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急マニュアルを作成し周知徹底と個々にあったケアに努めて事故防止をしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急処置・緊急マニュアルを作成し、またミーティング時対応訓練を行っている。 1		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働き	利用者が避難訓練と理解できずパニックになられる方が多いため、職員が慌てず速やかに消火活動や誘導が出来るように訓練を実施している。また利用者は日々階段の登り下りと1次避難場所である公園への散歩をほぼ毎日		
72	リスク対応に関する家族等との一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	家族の訪問時、また電話にて本人の状況を報告し理解して頂くように努め・対応の方法等話し合い、可能な限り安全で安心した生活を送る事が出来る様サポートしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日常の観察に努め変化をいち早くキャッチし早期対応と情報の共有を行っている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬綴りを作り理解・把握に努め、薬の内容が変更になった場合はノートと申し送りを活用し職員全員で把握出来るようにしている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェック表を作り便秘しないよう注意している。また十分な水分摂取・運動等心がけている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後必ず口腔ケアを行い、夜間は義歯のつけ置き消毒を行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりにあった食事量とこまめな水分補給と水分量チェックを行っている。水分をとることを拒否される方もおられるため、食事や寒天・ゼリーなどで摂取出来るようにも工夫している。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	手洗い・うがいの徹底、手すりの消毒やこまめな床掃除等行う。また流行期になったら本部より対策要綱など提示があり感染症を持ち込まない様、気をつけている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具やふきん等こまめの消毒し、食材は使い切るようにしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわ利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に花をを植え家庭的にしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過	季節にあった創作物を共に作成し展示したり、記念写真を展示し工夫をしている。		
82	共用空間における一人ひとりの共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置き共にTV視聴・談話・うたた寝とリラックス出来る環境を作っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるよ	馴染みの家具や思い出の物を持ち込みを勧め居心地よく自分の居場所を作っている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこ	チェックしやすい様に室内湿度・温度計を設置し、こまめな換気と室温調整を行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共用部分に手摺の設置。滑り止めマットの活用。馴染みの家具の持ち込み推奨している。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	何が得意か？何がおこなえるか？その日の個々の状態を把握し安心して、出来る事は可能な限り行える様にサポートしている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	プランターにてのガーデニング実施、花苗選び・花芽摘みや水やり、植え換え等行っている。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・横川駅より徒歩10分以内という好立地であり、又、近隣に大きな公園や商店街がありほぼ毎日散歩や買い物に外出しています。
- ・利用者の方が出来る事は、職員がサポートしながら行っていただき毎日たいくつしない様生き生きと生活出来る様、支援しています。
- ・利用者一人ひとりがその人らしく自分を表現しながら、生活を送る事が出来る様、職員がその方を充分理解し共に支え合う関係(親子の様な、、、)を作りなが笑顔が多いホームとなっています。